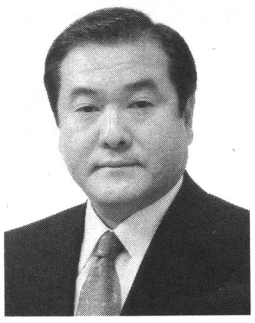
育英会だより

発行所
財団法人 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目2番5号 光正ビル6階
電話 03（3256）1981
FAX 03（3256）1982
E-mail:mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動



財団法人　漁船海難遺児育英会
理事長
鈴木俊一

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、燃油の高騰、大型クラゲの大発生など我が国水産業界にとって大変な一年でありました。また景気も回復基調とは言うものの業種間で格差があることや、消費者にとっては実感しにくい状況が依然として続いております。こうした一年ではありましたが、漁船海難遺児育英事業をご支援いただいております皆様方には変わることなく、格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

平成十八年は通常国会に公益法人の制度改革に関する法案が提出される予定です。これは、平成十二年の行政改革大綱以来、政府が検討を重ねてきたもので、成立すると公益法人の抜本的改革となります。目的は民間非営利部門を社会経済システムの中に積極的に位置づけることと、より公正・公平で透明性の高い組織とすることなどにあります。本会も当然、法の求めるところに応じた対応が必要となります。

こうした時代の変化の中、本会を取り巻く状況も大きく変わって来ております。昭和四十年マリアナ諸島海域で台風被害により発生した海難事故では、一度に二〇〇余名のかつお漁船員の命が奪われました。この事故を契機に設立された本会も昨年、創立三十五周年を迎えました。この間延べ六万人を越える奨学生を援助し励ましてまいりましたが、幸いなことに今では関係者の努力や漁業構造の変化などを背景に大事故の発生はほとんどなくなり、遺児数は減少傾向にあります。

しかし、一方で当時に比べ上級学校への進学率は飛躍的に高まり、専門技術習得のための専門学校への進学やダブルスクールといった傾向も強く、修学に要する出費は多大なものとなっています。加えて大学などでは自宅からの通学が不可能な場合も多く、さらなる出費を考えると進学を断念せざるを得ないという非常に残念なケースも見られます。

長引く低金利は財団法人の運営に大きな影を落としておりますが、安定的な事業運営に務めるとともに時代の変化にも十分対応できる育英事業として、一層の充実に向けて努力する所存でございます。何卒、皆様方の温かいご支援・ご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

奨学生の皆様におかれましては、進学・就職を控え希望に満ちた年明けを迎えられた方も多いかと存じます。新しいこの一年を健康に気をつけ、実り多き年として下さい。

最後に、皆様方の益々のご発展とご健勝、そして海上安全を祈念申し上げます。

漁船海難遺児を励ます全国協議会
会長
植村正治

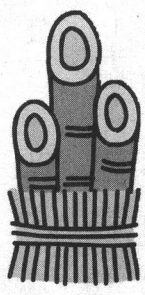
新年明けましておめでとうございます。日頃から漁船海難遺児育英事業の推進につきましては、格別のご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

昨年は、前年から続いております燃油価格の高騰や大型クラゲの来襲などが大きな問題となり、漁業経営にとって大変厳しい年でした。また、年末に開催された香港閣僚会議でのWTO交渉は当面結論が先送りされましたが、今後どのように展開するのかは不透明であり、わが国水産業の状況は更に厳しくなることが予想されます。

このような中、自民党水産総合調査会（会長は鈴木俊一先生）や水産基本政策小委員会、水産部会の幹部の先生方を中心とした、政治主導での燃油高騰対策、大型クラゲ問題などに対する基金造成など、各般の緊急対策を打ち出して頂き、誠に喜ばしく、全国の漁業者を代表して厚くお礼申し上げる次第であります。

また、私たちJFグループでは、昨年十一月に「合併構想の完遂による組合員・地域に貢献できる自立漁協の構築」、「事業改革の実践によるJF事業利益〝V字回復〟の実現」等を目指し、全国漁協代表者集会を開催、新運動方針を決議して新たな三カ年間の目標に向かって運動を展開することといたしました。

一方、漁船海難遺児育英事業に関しましては、未だ漁船による海難事故が後を絶ちません。今後とも青年部・女性部への救命胴衣の着用の呼びかけなど漁船の海難防止に努めて参る所存であります。また、育英事業の充実にも一層努力して参る所存ですので、今後とも皆様方のご指導・ご協力を賜わりますようお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



全国漁協女性部連絡協議会
会長理事
尾山春枝

新年あけましておめでとうございます。

皆さまには、すがすがしく新春をお迎えのことと、心からお慶び申しあげます。

日頃より勉学やスポーツをはじめ家業のお手伝いにも励まれている奨学生の皆さんと、漁業状況の厳しい中で毎日、漁に精進されておられるご家族の皆さまにおかれましては、本年もご壮健で、より一層希望の持てる明るい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

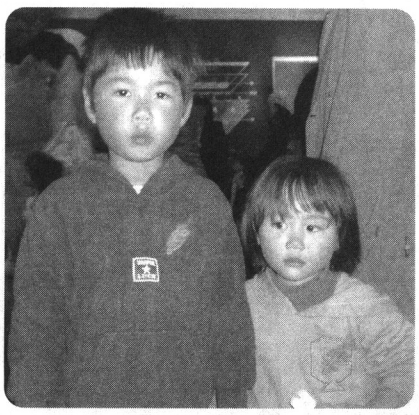
昨年は明るいニュースの少ない一年であったように感じております。漁業におきましても同様で、燃油価格高騰、大型クラゲ来襲など依然として厳しい状況が続いており心温まる話題が少なくなったように感じられ、地域のつながりまでも稀薄になりがちではありますが、奨学生の皆さんには、いつも周りにはご家族をはじめとする励ましの輪があることを忘れずに、日本の各浜、津々浦々の漁協に集まる私たち漁協女性部員も「浜のお母さん」として、漁の安全、夫や子供、家族の安全を毎日朝夕祈らない日はありません。

今後も微力ではありますが、「浜のお母さん」は、漁業や将来の社会を担っていかれます奨学生の皆さんの力になり得るよう、育英制度を支える関係者の方々とともに「漁村女性一人一月十円募金運動」の推進を、全国共通運動として取り組んで参ります。

最後に、漁業に携わっておられます皆さまには、一人ひとりが自然との共存の中、万一に備えられまして、救命衣の着用や海難事故の未然防止に一層のご注意をいただき、本年が事故のない年でありますことを節にお願い申しあげますとともに、育英会制度を支えておられます方々の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

第25回全国豊かな海づくり大会
神奈川県横浜市

十一月十九日（土）・二十日（日）の二日間、「光る海　未来を映す　大きな鏡」をテーマとした、『第二十五回全国豊かな海づくり大会』（主催／豊かな海づくり大会推進委員会・第二十五回全国豊かな海づくり大会かながわ実行委員会）が神奈川県・横浜みなとみらい（パシフィコ横浜及び臨港パーク）で開催されました。



この大会は、魚や貝などの水産資源を保護し増やすことと、海の環境を守ることの大切さをみんなで考える大会であり、二十日には天皇・皇后両陛下ご臨席のもとパシフィコ横浜国立大ホールにて大会式典を執り行い、式典後、臨港パークにてマダイ・ホシガレイ等が放流されました。

展示ホールや屋外ステージ会場等においては、二日間で一五〇，〇〇〇人以上が来場し、たくさんのイベントや地元の海産物等を買い求める人で賑わいました。

なお、二十日は主催者のご理解のもと、式典会場内マリンホール並びに展示ホール出入り口付近にて本会職員による募金活動を行い、大勢の皆様より温かいご支援を賜ることができました。

大会主催者並びに関係者の皆様はじめ、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

次回の『第二十六回全国豊かな海づくり大会』は、平成十八年十月二十九日（日）佐賀県佐賀市・唐津市・東与賀町にて開催されます。

＝詳細＝

第二十六回全国豊かな海づくり大会
佐賀県実行委員会

■住所
佐賀市城内一―一―五十九

■電話
〇九五二―二五―七二七四

■ホームページ
http://www.pref.saga.lg.jp/at-contents/shigoto/suisan/umidukuri/

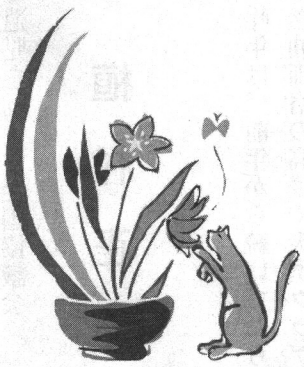
＊佐賀県庁ホームページからもアクセス可能です。

第五十七回 全国漁港漁場大会

十月十二日（水）、『第五十七回全国漁港漁場大会』が兵庫県神戸市「ワールド記念ホール」において開催され、全国各地の漁港漁場関係者ら約二，三〇〇名が集まりました。

会場入口では、日頃から育英事業の窓口としてお世話になっております兵庫県漁連並びに各団体職員の方々を中心に募金活動が行われ、来場者の皆様から多大なるご支援を賜ることができました。

主催者の㈳全国漁港漁場協会はじめ、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。



平成十七年度 第三回選考委員会

去る十月二十八日（金）、『平成十七年度第三回奨学生選考委員会』が開催され、「第三回奨学生出願者（十月十五日締切り）の選考」について審議されました。この結果、幼稚園・小中高等学校在学の学資給与奨学生四名、大学等在学の貸与奨学生一名、合計五名の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた十二月十五日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」のとおりです。

平成十七年度 第二回理事会・評議員会

十二月九日（金）、『平成十七年度第二回理事会及び評議員会』が東京都千代田区コープビルにおいて開催されました。

先ず、評議員会において、十二月二十日をもって任期（二年）満了となる理事十八名及び監事二名の選任が行われました。新たに、斎藤洋平氏（全国水産加工業協同組合連合会代表理事会長）、堀田充氏（農林中央金庫常務理事）、尾山春枝氏（全国漁協女性部連絡協議会会長）、寺崎千秋氏（全国連合小学校長会会長）、大橋久芳氏（全日本中学校長会会長）の五名の理事と監事に齋藤雅晴氏（全国共済水産業協同組合連合会常任監事）が就任されたほか、理事十三名、監事一名を再任しました。

引き続き開催された理事会においては役員の互選が行われ、鈴木俊一理事長、植村正治副理事長、眞崎克實専務理事が選任されました。また、評議員の辞任に伴い新たに、安本博通氏（船員災害防止協会専務理事）、宮川雄司氏（全国都道府県教育委員会連合会事務局長）、相上興信氏（全国市町村教育委員会連合会事務局長）、大井誠治氏（岩手県漁業協同組合連合会代表理事会長）、佐藤富齋門氏（山形県漁業協同組合代表理事組合長）、岩田幸男氏（鳥取県漁業協同組合代表理事組合長）、山本勇二氏（広島県漁業協同組合連合会代表理事会長）の七名が選任され、奨学生選考委員には監事の齋藤雅晴氏、評議員の相上興信氏が選任されました。

平成十七年度第二回理事会及び評議員会をもって退任された理事・監事並びに評議員の皆様に改めて深く感謝の意を表します。

公　告

平成十七年度漁船海難遺児育英事業のうち、幼稚（保育）園・小学校・中学校・高等学校等に在学している奨学生を対象に実施している学資給与事業に対する費用の一部助成として、日本財団から六六〇万円が交付されます。ここに公告し、衷心より感謝申し上げます。

基金造成中の本会にとって、この助成金は育英事業の推進上きわめて大きな力となっております。このことを併せ公告し、同財団に厚くお礼申し上げる次第であります。

平成十八年一月

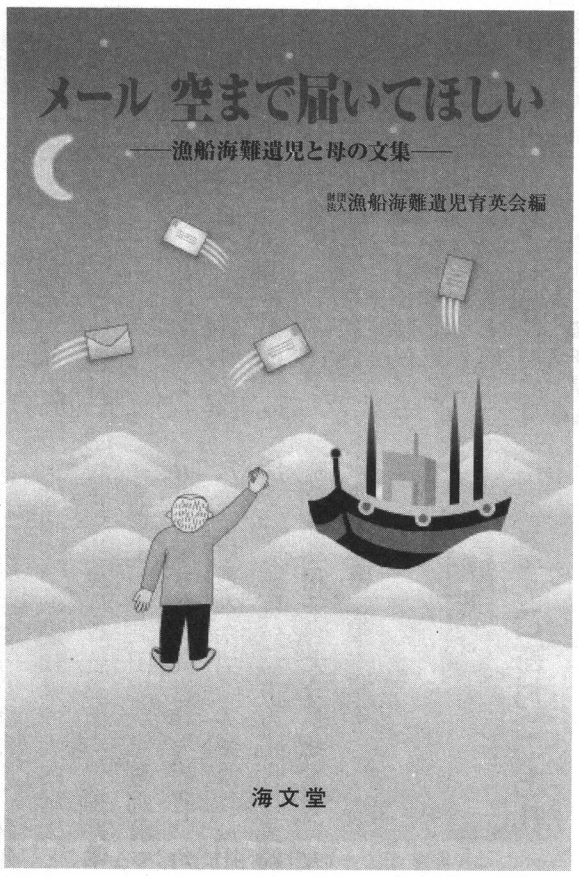
㈶漁船海難遺児育英会
理事長　鈴木俊一

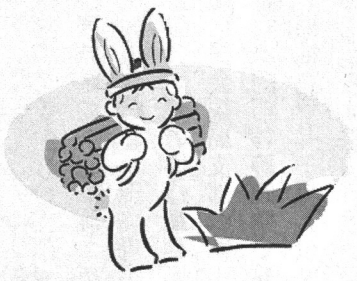
育英会設立三十五周年記念
『メール　空まで届いてほしい』
―漁船海難遺児と母の文集―
発刊

本会では、昭和五十年以来、設立五年毎の節目を記念し、ご遺族の方々を対象に募集した作文・詩歌等（本紙「育英会だより」掲載作品を一部含む）を一冊の本にとりまとめ「海難遺児と母の文集」として刊行してまいりました。今回、三十五周年を迎え制作いたしました第七集には、三十二作品（奨学生十九点・卒業生七点・保護者六点）がおおよその内容により三つのグループに分けられ掲載されており、その中の一つ、今は亡き愛する夫に宛てて綴った徳島県　福田美チ子さんの作品「父さん、相談があります」の詩の一節、『メール　空まで届いてほしい』が書名として使用されています。

さて、本会奨学生の事故当時の年齢を見てみますと、約三分の二の子供達が小学校以下の幼い頃に父親を亡くされております。従って、自分の父親の顔や声を全く知らない子供達も少なくありません。本書にはそういった子供達の想いや記憶の片隅に残る父親とのわずかな思い出、一家の大黒柱を失いながらも懸命に育ててきてくれた母親の姿、また、突然愛する人を亡くした妻達の心情等がリアルに書き綴られております。

ぜひ、多くの皆様にご一読いただき、数値では図りしれない遺族の苦しみ・悲しみを知っていただければと思います。また、この場をおかりし、本書発行に際しご協力いただきました多くの皆様に心より感謝申し上げます。





〔過去の作品一覧〕

第一集（昭和五十年）
『だっこしてもらいたかった』
第二集（昭和五十五年）
『母さんの光る汗』
第三集（昭和六十年）
『父さん、大きくなったよ』
第四集（平成二年）
『お母ちゃん、お父ちゃん買って』
第五集（平成七年）
『お父さん、いっしょに帰ろう』
第六集（平成十三年）
『いつか逢おうよ、父ちゃん』

〔ご購入先〕

海文堂出版株式会社
〒一一二―〇〇〇五
東京都文京区水道二―五―四
TEL
〇三―三八一五―三二九二
FAX
〇三―三八一五―三九五三
※最寄りの書店でもご注文いただけます。
定価　八四〇円（税込）

寄付者からのお便り

＊朝がとても冷え込む頃となりました。遺児達が成長して社会人になって喜びの言葉とてもうれしいですね。これからもがんばって。
（千葉県　福田昌佳）

＊体に気をつけてください。
（東京都　須藤美智子）

＊師走となり何かと気忙しくなってきました。

やはり海難事故は多いようでニュースを聞くたびに心痛みます。船の安全と時化が突然来ないことを祈っています。

「水色の羽根を知っていますか」という新聞記事で漁船海難遺児育英会のことを知ったのは六、七年前と思います。一度しかない人生、みんな一生懸命生きているわけですが一番大切なお父様を早くに亡くされどんなに大変なことか…。でも、皆様がいつも明るく強く前向きに生きて行こうとしている姿、言葉を聞き敬服し、逆に私の方が元気を戴いていると思います。「一度しかない人生」この言葉は父からも言われた言葉ですが、若さに甘え意欲は足りなかったと反省しています。人生の昏れになり気がついたことを少し書いてみます。まず、私は何をするにも三日坊主だったということです。日記、育児日記然り勉強にしても何にしても能率的な方法があります。三日坊主には日記はカレンダー式が良いということが分かりました。ノートの二ページに渡って大きくカレンダーを作り日付の下に主なその日の出来事など書き次のページに詳細なメモの欄にする。そうすると長続きするということを見つけました。今では三色ボールペンを使い分けその日印象的だったことを俳句に詠んでいます。俳句はたった十七文字の中に季節を知り、植物の名前、動物の名前いろいろ知ることが出来ます。「侘び」と「寂び」の違いは何だろう。そこから興味が沸いてきます。つたない俳句から

夏木立　乳呑児の母　たくましき
（娘が帰って来た時）

朝靄か　鳥の囀り　目覚む夏

俳句の先生も生徒の作品からその人にこの頃どんな出来事があったのか分かると言われます。日記を続けていると国語力も増し漢字検定三級は取れます。
（神奈川県　南三千代）

＊遺児の皆さん今年も元気でがんばってください。
（鹿児島県　冨元小松）

「育英会だより」の原稿をお待ちしています！

◎題材は自由です。最近の出来事や奨学生への励まし、「育英会だより」に対するご意見・ご要望などお寄せください。
◎イラスト、写真、詩歌、随筆等もお待ちしております。
◎原稿は随時受け付けております。
◎掲載させていただいた方には、本会より記念品を贈呈いたします。

寄付（募金）のお願い

本会の育英資金は、多くの善意の方々から寄せられた寄付金で基金をつくり、その運用益で賄っております。基金は未だ十分とはいえないため、多くの方のご協力をお願いしております。

〈送金方法〉

郵便局及び本会の指定する金融機関にお振込の際、本会の振込用紙をご利用いただければ、振込手数料は免除になります。ご連絡くださればお送りいたします。

〈郵便振替口座〉

口座番号：００１５０－７－１３１１７５
口座名義：財団法人　漁船海難遺児育英会

また、高校・大学等奨学生に貸与する奨学金をある期間、定期的にご支援いただく「励ましおじさん・おばさん」のご加入も随時受け付けております。ご希望の方はお問い合わせください。

※寄付金の税法上の優遇措置について

本会は、法人税法上及び所得税法上の「特定公益増進法人」の扱いを受け、本会に対する寄付金は、法人では法人税法上一定額の損金算入が認められ、個人では所得税法上の所得控除が認められます。
本会が「特定公益法人」であることの文部科学大臣、農林水産大臣の証明書の謄本を、寄付金領収証に添えてお渡ししますので、確定申告の際、所轄の税務署へご提出ください。
また、相続または遺贈分からの寄付金は、租税特別措置法により課税対象からの控除が認められます。

募金箱設置団体募集

漁船海難遺児を励ます全国協議会のご協力により、間伐材を使用して作成された「海に優しい募金箱」（縦16㎝×横20㎝×幅9㎝／右下写真）を設置していただける団体を募集しております。ご希望の団体はお問い合わせください。なお、この受け付けにつきましては募金箱がなくなりしだい終了いたします。

［お問い合わせ先］
〒101－0047
東京都内神田２－２－５
光正ビル６階
財団法人　漁船海難遺児育英会
ＴＥＬ：03-3256-1981（9～17時受付）
ＦＡＸ：03-3256-1982（24時間受付）
E-mail：mizuiro.ikuei@eos.ocn.ne.jp

励ましおじさん・おばさん『奨学資金ご寄付』のお礼

平成十六年十二月から平成十七年十一月までの間に、ご寄付をいただいた方々のご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名（敬称略）

◎**北海道**▽加藤茂子▽佐藤倶子▽本間雅彦◎**秋田県**▽山岸剛◎**茨城県**▽大串信昌▽大島登▽水谷宏▽菱幸運輸㈱水戸営業所所長吉村明朗◎**群馬県**▽臼井貞夫◎**埼玉県**▽稲垣友三郎▽小野彌▽金木愛子▽神山幸士▽橋爪政男▽松本安裕▽村田奇一▽森安良▽弓削志郎◎**千葉県**▽市村隆紀▽井貫晴介▽岩﨑昌子▽大西絹子▽大類裕久▽岡村豊▽小川宏一▽越智豊子▽釜田朝▽小林芳雄▽斎藤信夫▽坂口はつ子▽新蔵敏彦▽杉浦正悟▽中前明▽平田淳一▽福田昌佳▽若林満◎**東京都**▽赤保谷明正▽飯島孝夫▽五十嵐悦子▽五十嵐太乙▽石坂和泉▽石田浩▽大野誠▽小川渉▽落合昭男▽影山智将▽勝野輝美▽勝野ハナ子▽㈱洸洋代表取締役会長江刺冨美子▽㈱ＢＲＢ▽川口雄二▽岸田博▽岸野昭雄▽工藤文子▽粂知文▽黒沼なをみ▽古田土満▽後藤暁▽坂井淳▽白井久子▽末永芳美▽須藤美智子▽髙木南海雄▽武信貞夫▽武本俊彦▽竹谷廣之▽田原文夫▽照山光一▽徳岡慶子▽戸田滿弘▽根尾友久▽根本京子▽春田孝二郎・朝子▽平野文▽廣江志賀子▽廣重和夫▽福田濱子▽星野正一▽三橋宏次▽宮原邦之▽向井昌子▽柳多鶴▽吉田博身▽渡辺千鶴子◎**神奈川県**▽浅倉寛▽乙幡眞一▽木山清▽佐藤正敏▽田中潤兒▽千倉睦男▽浜喜水産㈱代表取締役太田昌三▽濱谷稔夫・小百合▽大和陸子◎**愛知県**▽大内輝夫・恵子▽佐藤仁▽野々山均◎**福井県**▽高橋正顕▽武田忠男◎**京都府**▽奥手初栄▽塩見英世◎**大阪府**▽角丸英子▽道本孝治◎**兵庫県**▽武田佳子▽信原稔信▽古市正行◎**長崎県**▽寺島和子◎**大分県**▽中嶋一太◎**鹿児島県**▽福永政子

育英基金『募金・ご寄付』のお礼

平成十七年九月から十一月までにご寄付をいただいた方々のご芳名を掲げ、そのご芳志に厚くお礼申し上げます。

※ご芳名（敬称略）

一、漁協系統募金（各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会（略称・地方協）」等で取り扱った分で、一般寄付を含みます。）

〔九月〕◎**青森県**▽地方協◎**宮城県**▽地方協◎**静岡県**▽小林艶子◎**兵庫県**▽脇英雄―香典返し◎**和歌山県**▽ＪＢＴＫ実行委員会◎**山口県**▽荒川正治◎**長崎県**▽地方協◎**大分県**▽ナツメロ・演歌劇場まさ▽地方協

〔十月〕

◎**北海道**▽工藤隆―香典返し▽小林啓吉―入院見舞い返し▽浜益マリンふれあい部会▽堀祐一◎**千葉県**▽きんめだい祭り実行委員会◎**静岡県**▽地方協◎**三重県**▽永富洋一▽地方協◎**兵庫県**▽地方協◎**長崎県**▽ながさきみなとまつり実行委員会◎**鹿児島県**▽市来町漁協ＩＳＡＭＡＲＯ杯▽ラウンジ仲間▽串木野づくし産業祭り水産イベント部会

〔十一月〕

◎**青森県**▽漁業士会むつ支部▽北海三郎◎**宮城県**▽石巻歌謡アカデミー会主武田つとお▽漁協青年団体連絡協議会▽地方協◎**福島県**▽鳥羽一郎後援会福島支部◎**富山県**▽辻村彰▽水門巧◎**静岡県**▽ＮＰＯ静岡葵福祉会▽丸子町人倶楽部▽用宗漁港しらす祭実行委員会▽地方協◎**島根県**▽木村勝彦◎**高知県**▽地方協◎**福岡県**▽福岡魚食普及推進協議会◎**長崎県**▽木寺四男美▽漁協青壮年部連合会◎**沖縄県**▽㈱沖建住宅▽沖縄塩元売㈱▽沖縄砂利採取事業協同組合▽㈱海産物のきむらや▽㈲協同化工▽㈱協和ガス▽新日本海事㈱▽㈲シンリュウ石油▽高橋土建▽東亜海事㈲▽㈱名嘉食品▽前川九州システムサービス㈱沖縄営業所▽地方協

二、一般寄付

〔九月〕◎**青森県**▽大山チセ▽吉田弘一―香典返し◎**埼玉県**▽小野沢通▽冨元克昌◎**千葉県**▽飯村久子◎**東京都**▽亀田俊夫▽称念寺▽榎本みつ枝▽石﨑三輪子▽明大中野八王子中・高生徒会福祉委員会―校内募金◎**京都府**▽中上清吾◎**鳥取県**▽浜野茂夫◎**岡山県**▽吉田厚子◎**広島県**▽広島魚商協同組合青年部◎**山口県**▽高本實―香典返し◎**長崎県**▽浜辺正―香典返し◎**鹿児島県**▽冨元小松

〔十月〕◎**北海道**▽小池洋一郎（故二郎〈父〉の遺志）▽北崎初恵◎**岩手県**▽佐々木強◎**宮城県**▽宮城シーフレンド会会長阿部達男◎**埼玉県**▽冨元克昌▽小野沢通◎**千葉県**▽飯村久子◎**東京都**▽亀田俊夫▽称念寺▽榎本みつ枝▽石﨑三輪子▽明大中野八王子中・高生徒会福祉委員会―校内募金◎**京都府**▽中上清吾◎**鳥取県**▽浜野茂夫◎**岡山県**▽吉田厚子◎**広島県**▽呉海員会館◎**鹿児島県**▽冨元小松

〔十一月〕◎**北海道**▽函館くじら普及協議会会長藤原厚◎**埼玉県**▽冨元克昌◎**東京都**▽明大中野八王子中・高生徒会福祉委員会―文化祭での募金▽樋田徹也▽望月英夫▽町田幸子▽㈳海洋水産システム協会◎**神奈川県**▽山中政志◎**千葉県**▽海野研一―香典返し▽飯村久子◎**京都府**▽中上清吾◎**兵庫県**▽五弓徹◎**鳥取県**▽浜野茂夫◎**岡山県**▽吉田厚子◎**山口県**▽県立水産高等学校◎**鹿児島県**▽冨元小松

都道府県別奨学生数

（平成17年12月15日現在）

都道府県名	給与奨学生 幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	貸与奨学生 高校生等	大学生等	小計	合計	平成17年度第3回採用者 幼児	小学生	中学生	高校生等給与	高校生等貸与	大学生等	合計
北海道	1	23	17	22	63	1	9	10	73						1	1
青森	1	4	2	6	13		2	2	15							
岩手	1	2	4	7	14	2	5	7	21							
宮城	3	5	7	9	24	1	3	4	28							
秋田				1	1				1							
山形		1			1		1	1	2							
福島		2	1	5	8				8							
茨城			1	1	2		1	1	3							
千葉	2	4	4	3	13		1	1	14			2	1			3
東京		3	1	1	5		2	2	7							
神奈川																
新潟	2	1	1		4				4							
富山																
石川	1	1		2	4		1	1	5							
静岡		1	3	1	5				5							
愛知				3	3				3							
福井																
三重			1		1				1							
京都			1	1	2				2							
大阪		1	2		3		1	1	4							
兵庫		3	4	6	13		2	2	15							
和歌山			2	1	3				3							
鳥取	1	1	3	2	7		1	1	8							
島根		3	4	5	12	1		1	13							
岡山	1	1			2				2							
広島		1	1		2		1	1	3							
山口	1	4	3	7	15	1	3	4	19							
徳島			3	4	7		1	1	8			1				1
香川		2	1	1	4		1	1	5							
愛媛		7	1	4	12	3		3	15							
高知		1	4	6	11		1	1	12							
福岡	1	3	1	1	6		2	2	8							
福岡県有明海																
佐賀県玄海																
佐賀県有明海		1	1		2				2							
長崎	2	6	6	9	23	2	4	6	29							
大分		3	1	5	9		4	4	13							
熊本		2	1	4	7				7							
宮崎	1	3	5	4	13	2		2	15							
鹿児島	1	4	3	8	16	1	1	2	18							
沖縄	1	4	4	3	12	1	2	3	15							
合計	20	97	93	132	342	15	49	64	406			3	1		1	5

※高校生等には、養護児を含む。
※奨学金貸与奨学生には、入学一時金のみの奨学生を含む。
※平成17年度第3回採用者は内数である。